

第 9 章

事後調査計画

第9章 事後調査計画

9. 1 事後調査計画

9. 1. 1 事後調査を行うこととした理由

対象事業の実施による環境への影響は、環境保全措置を実施することにより低減されるものであるが、一部の環境保全措置については不確実性が存在することから、事後調査を実施する。

9. 2 事後調査の項目及び内容

事後調査の項目及び内容を表9. 2-1に示す。

表9. 2-1 事後調査の項目及び内容

項目	対象種	事後調査の内容
植物	ハシゴシダ、クリハラン、サネカズラ、カナクギノキ、カゴノキ、ホンゴウソウ、エビネ、キンラン、クマガイソウ、ベニシュスラン、ハクウンラン属の一種、コ克蘭、ヒトツボクロ、ツルシロカネソウ、ユズリハ、ムカゴネコノメソウ、コミヤマスマミレ、ゴンズイ、アリドオシ、ナンバンギセル、イワシヤジン	<ol style="list-style-type: none"> 1. 調査方法 移植等の環境保全措置を実施した個体の活着状況を確認する。 2. 調査地点 環境保全措置を実施した個体の移植先 3. 調査時期及び頻度 工事中（2027年までの主要な工事期間）1回/年とする。 なお、実施内容は、必要に応じて専門家の助言を得て適切に実施する。
	タキミシダ、アマクサシダ、チャセンシダ、オオカナワラビ、ハカタシダ、サジラン、クリハラン、シキミ、カゴノキ、エビネ、ギンラン、ベニシュスラン、コ克蘭、ヨウラクラン、クモラン、カヤラン、ヒトツボクロ、ハナミョウガ、ツルシロカネソウ、ハナネコノメ、ムカゴネコノメソウ、イワユキノシタ、コミヤマスマミレ、ゴンズイ、アリドオシ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 調査方法 囲い込み等の環境保全措置を実施した個体の生育状況を確認する。 2. 調査地点 環境保全措置を実施した個体の生育先 3. 調査時期及び頻度 工事中（2027年までの主要な工事期間）1回/年とする。 なお、実施内容は、必要に応じて専門家の助言を得て適切に実施する。
生態系	クマタカ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 調査方法 定点観察等による調査とする。 2. 調査地点 クマタカの繁殖に重要と考えられる地域周辺とする。 3. 調査時期及び頻度 工事中及び工事後1年間の営巣期に行う。 なお、実施内容は、必要に応じて専門家の助言を得て適切に実施する。

9.3 事後調査の結果の公表

9.3.1 事後調査の結果により環境影響の程度が著しいことが明らかとなった場合の対応方針

事後調査の結果、環境影響の程度が著しいことが明らかとなった場合は、その原因の解明に努めるとともに、中間段階にあつては、できる限りの改善を図る。

9.3.2 中間報告書及び完了報告書の作成の時期についての基本的な考え方

中間報告書の作成時期は、工事の中間段階にあたる時期（令和7年～8年頃）とし、完了報告書の作成時期は、工事が完了する時期（令和10年頃）とする。

